

農地部 公共事業予備事後評価 一覧表

事業名	施設名	市町村名	総事業費 (事業期間)	事業目的	事業効果の発現状況	対応方針 【改善措置の必要性】	課名
経営体育成基盤整備事業	山島地区	新潟市	8.94億円 (H30～R5)	ほ場を1.0ha程度の大区域に整備するとともに経営体への農地集積を図り、生産コストの低減や複合営農の展開により安定した農業経営を確立し、地域農業を発展させることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 農地利用集積 整備前の集積率は81.7%、集約化率は25%であったが、本事業を契機に7名の個別担い手を中心に集積した結果、令和6年度末時点で集積率は84.4%、集約化率は64.9%まで向上した。 集積率及び集約化率はそれぞれ目標の100%、75.3%の達成に向けて取り組みを進めている。 <input type="checkbox"/> 営農状況の変化 大区画化によって大型機械の導入が可能となり、農作業が効率化されたことから、経営規模拡大と米の生産コストの縮減が図られている。また、創出された労力を活かし、たまねぎを栽培するなど園芸作物にも取り組んできた。一方、R7年産にはべと病が発生するなど年度によって収量にばらつきが生じており、安定生産には至っていない。収量が不安定となった要因として、排水管理の不十分さや病害の発生といった技術的課題に加え、たまねぎ栽培を地域として継続的に取り組むという生産者間の共通認識の形成や、具体的な対応内容を整理し段階的に支援していく行政側の関与が必ずしも十分ではなかったことが挙げられる。 これらを踏まえ、今後は表面排水の徹底、越冬病株の抜き取り、ほ場のローテーション、予防的な殺菌剤の散布等の技術的対策を継続するとともに、たまねぎを地域の園芸作物として位置付けた上で、生産者と行政が連携し、栽培管理や防除方針を共有する体制を構築することにより、収量の安定化と取組の定着を図っていく。 <input type="checkbox"/> 受益者の満足度（アンケート調査結果） アンケートの結果、ほとんどの人がほ場整備は農地の利用集積や農作業の効率化、耕作放棄の防止に効果があり、話し合いにより地域がまとまったなどの回答をしており、アンケートに回答したすべての受益者が事業に満足していた。	特になし	農地整備課
経営体育成基盤整備事業	高野	上越市	22.06億円 (H29～R5)	ほ場を1.0ha程度の大区域に整備するとともに経営体への農地集積を図り、生産コストの低減や複合営農の展開により安定した農業経営を確立し、地域農業を発展させることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 農地利用集積 整備前の集積率は90.9%、集約化率は94.8%であったが、担い手への集積・集約を進めた結果、令和6年度末時点で、2法人、1個別担い手を中心に集積され、集積率は100%、集約化率は98.6%まで向上した。 <input type="checkbox"/> 営農状況の変化 ・本地区の主要な担い手であるA法人（経営面積73ha）は、労力（米の生産コスト）の縮減が図られた結果、少ない労働力（オペレーター2人）での耕作が可能となり、週休二日が可能となっている。 ・また、最大4.2haの超大区域ほ場の造成や農道ターン等の整備により、スマート農業が導入可能なほ場としたうえスマート農機を導入するなど、先進的に取り組む地区であり、県内外の視察を受け入れるなど、今後のほ場整備のモデルとなっている。 <input type="checkbox"/> 受益者の満足度（アンケート調査結果） アンケート調査を実施した結果、アンケートに回答したほとんどの受益者が、ほ場整備による大区画化や水路整備の効果を実感しており、事業に満足していた。	本地区は法人のリーダーシップにより円滑な合意形成が図られ、集落営農の段階で地域内の意思統一が十分になされていたことから、大区画化ほ場をはじめとする先進的な基盤整備がスムーズに実施された。また、基盤整備において、営農作業の効率化が図られる「ターン農道」を導入しており、今後、耕作者の減少が見込まれる中で、作業効率を重視した基盤整備の考え方は他地区にも応用可能である。こうした取組や効果を整理・分析することで、同種事業における合意形成や基盤整備の検討に資する知見を得る。	農地整備課
中山間地域総合整備事業	六箇地区	十日町市	9.2億円 (H25～R5)	区画整理、農業用排水施設整備を一体的に整備し、生産効率の向上、安定した用水の確保、並びに維持管理の低減を図り、担い手への農地集積により安定した農業経営を確立させ、基幹産業である農業の振興と農村の活性化を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 営農状況の変化 ・農業用排水施設整備により効率的な配水が可能となり、用水路に係る維持管理負担は軽減し、ため池によって安定した用水の確保が可能となった。 ・区画整理により区画が平均約30aへ拡大し大型機械の導入が可能となり、進入路も確保され、営農作業の省力化が図られた。 ・事業を契機に担い手への農地集積が進み、地域ではさらなる農地集積に向けて話し合いが継続されている。 ・効率的な用水管理と作業環境の改善により、地域農業の安定的な維持が可能となった。 <input type="checkbox"/> 受益者の満足度（アンケート調査結果） アンケート調査を実施した結果、アンケートに回答した多数の受益者が、区画整理による農地集積や作業性の向上、用排水整備による安定した用水確保等の効果を実感しており、事業に満足または概ね満足していた。	特になし	農村環境課

農地部 公共事業予備事後評価 一覧表

事業名	施設名	市町村名	総事業費 (事業期間)	事業目的	事業効果の発現状況	対応方針 【改善措置の必要性】	課名
農地環境整備事業	道之下地区	上越市 (旧吉川町)	9.5億円 (H29～R5)	区画整理を実施し、営農の効率化や担い手への農地集積を図り、耕作放棄地の防止に加え、安定した農業経営を確立することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 営農状況の変化 ・区画整理により区画が平均約30aへ拡大し大型機械の導入が可能となったほか、耕作放棄地が解消され、営農作業の省力化が図られた。 ・個別担い手に集積され集積率は100%を達成し、農業経営の安定が図られた。 ・事業の実施により生まれた余剰労力を活用し、地区周辺では上越地域特産の自然薯を栽培する取り組みもみられ、安定的な農業経営が図られている。 ・担い手を中心とした効率的な営農体系が形成され、地域農業の持続的な発展が促進された。 <input type="checkbox"/> 受益者の満足度（アンケート調査結果） アンケート調査を実施した結果、アンケートに回答した受益者の過半が区画整理による農地集積や作業性の向上の効果を実感しており、事業に満足または概ね満足していた。	特になし	農村環境課
農地環境整備事業	赤沢地区	糸魚川市	6.2億円 (H30～R5)	区画整理や農業用排水施設整備を一体的に整備し、営農及び維持管理の作業の省力化、大型機械の導入、水利利用の合理化、地域の担い手への農地集積を図り、耕作放棄地の発生を未然に防止し、安定した農業経営の確立により地域農業を発展させることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 営農状況の変化 ・農業用排水施設整備により効率的な配水が可能となり、維持管理作業の負担が軽減した。 ・ファームポンドや長大な水路法面、農道法面の草刈り、水路の土砂上げや補修などの維持管理において、多面的機能支払による共同活動に取り組んでいる。 ・区画整理により区画が平均約30aへ拡大し大型機械の導入が可能となり、営農作業の省力化が図られるとともに担い手への集積が進んだことにより、耕作放棄地が解消した。 ・事業を契機に、地区全域を対象として農地集積に向けた農地中間管理機構との連携を進めている。下早川地域の中心経営体、認定農業者に地区の大部分の農地が貸し出しされ、5名の個別担い手への農地集積が進められた。 ・保安全管理区域では、地域共同の草刈りによる適切な保安全管理が行われ、隣接する祠（ほこら）とともに地域の祭の場としても活用されており、集落機能の維持に繋がっている。 <input type="checkbox"/> 受益者の満足度（アンケート調査結果） アンケート調査を実施した結果、アンケートに回答したほとんどの受益者が、区画整理による農地集積や作業性の向上、用排水整備による安定した用水確保等の効果を実感しており、事業に満足または概ね満足していた。	特になし	農村環境課